

付録(5):研究調整連絡会合実施概要

文部科学省 平成 21 年度
国際開発協力サポートセンター・プロジェクト

青年海外協力隊「現職教員特別参加制度」 による派遣教員の社会貢献と組織的支援・活用の可能性

研究調整連絡会合:平成 22 年 3 月 1 日
(10:00-16:00/18:15@文部科学省)

開催概要



背景

青年海外協力隊現職教員特別参加制度による教員の派遣が平成 14 年度から開始され 8 年が経過し、この間の派遣者数は 600 名に近づきました。しかし、帰国後に配属校の校務分掌中で国際理解教育担当を割り当てられた方、帰国後授業計画の中で協力隊経験を取り入れた指導案の作成や授業実施を行った方の割合は、それぞれ 25%に留まっており（平成 19 年 10 月青年海外協力隊事務局調査）、都道府県及び政令指定都市の全教育委員会のうち、帰国後の教員による教育現場への還元・貢献を主導的に行っているところは 16%に留まっています（平成 18 年 10 月文部科学省調査）。総じて、本制度の経験者の先生方は、帰国後に途上国における海外教育経験の教育現場・地域社会への還元・貢献を期待されているものの、それを組織的に支援・活用する体制はまだ整っていないのが現状です。

一方でいくつかの教育委員会では、青年海外協力隊事業に参加した教員（以下、JOCV 海外教育経験教員または、JOCV 経験教員、派遣教員、経験教員）を組織的に支援・活用しようという試みが始まっています。また、自らの経験を教育界や地域社会へ還元させようと活発に活動されている先生方もいらっしゃいます。それらの動向と事例を取りまとめ、適切な形で教育委員会などの関連機関へ提供し、経験教員による教育現場への社会還元・貢献をより組織的に支援・活用していただくための一助とするため、本調査が行われることになりました。

本調査では、9 月の作業開始以降これまでに、青年海外協力隊現職教員特別参加制度による派遣教員やその学校長へのアンケート調査及びインタビュー調査、教育委員会へのアンケート調査を実施しておりますが、この度最終報告書のドラフトの完成に併せ研究調整連絡会合を開催することになりました。本研究調整連絡会合では、これまで行われた経験教員や所属学校長並びに教育委員会へのアンケート調査や、好事例となり得る活動を行っている経験教員へのインタビュー調査の成果報告とともに、先進的な教育委員会の取組事例を共有し、今後の更なる推進・展開にむけた方策を議論するものです。

開催目的

- 本調査の分析結果の共有と本研究報告に基づく議論
- 報告書ドラフトの修正案・改善案の提示
- 本制度を活用している教育委員会の取組事例の共有と今後の展望に関する議論
- 制度の効果的推進にむけた帰国教員からの意見・提案の収集
- 現職教員特別参加制度の派遣教員の支援・活用に向けた意見交換
- 本制度の組織的推進にむけた意見交換

開催日時・場所

日程：平成 22 年 3 月 1 日（月曜日）

時間：10:00-18:15（9:30 受付開始）

場所：文部科学省 6F2 会議室

（〒100-8959 東京都千代田区霞が関 3 丁目 2 番 2 号中央合同庁舎第 7 号館東館 6 階）

会合参加者 敬称略

【都道府県・政令指定都市 教育委員会(4)】

- 埼玉県教育委員会，埼玉県立総合教育センター，兵庫県教育委員会，愛媛県教育委員会

【経験教員(2)】

- 丸山 一則（兵庫県香美町柴山小学校 教頭，兵庫 OV 教員研究会）
- 吉岡 康裕（東京都町田市立南つくし野小学校 教諭，関東教育支援ネットワーク）

【研究協力者(6)】

- 村松 隆（宮城教育大学）
- 小路 克雄（国際協力機構青年海外協力隊事務局）
- 竹内 啓三（関西大学）
- 斉藤 泰雄（国立教育政策研究所）
- 丸山 英樹（国立教育政策研究所）
- 佐藤 真久（東京都市大学）

【国際協力機構(JICA)】

- 井田 敏行（JICA 兵庫）
- 横山 トキ子（JICA 大阪）
- 小室 駿一郎（青年海外協力隊事務局）
- 早瀬 竜也（青年海外協力隊事務局）
- 浦山 友里恵（青年海外協力隊事務局）

【文部科学省大臣官房国際課】

- ・ 梅津 径（国際協力政策室国際協力調査官）
- ・ 瀬戸口 暢浩（国際協力政策室開発協力推進専門官），他二名

【文部科学省初等中等教育局初等中等教育局国際教育課】

- ・ 柳澤 好治（課長補佐），他三名

【記録担当】

- ・ 吉川 まみ（川崎市 非常勤）

プログラム 10:00-18:15

時間	AGENDA	備考
9:30-10:00	受付	
10:00-10:15	【AGENDA-1:はじめに】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 挨拶(文部科学省大臣官房国際課国際協力政策室) ・ 趣旨説明(齊藤・佐藤) ・ 自己紹介 	司会:瀬戸口
10:15-11:00	【AGENDA-2:調査研究進捗報告】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査研究進捗報告(佐藤) ・ [調査①]教育委員会による取組動向 ・ [調査②]JOCV 海外教育経験教員・所属学校長による取組動向 ・ [調査③]JOCV 海外教育経験教員の取組事例 	司会:瀬戸口 質疑応答
11:00-11:15	－休憩－	
11:15-12:30	【AGENDA-3:報告－教育委員会による制度活用事例】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会による制度活用に向けた取組事例(佐藤) ・ 各教育委員会からの補足説明(各組織) 	司会:竹内 質疑応答
12:30-13:00	【AGENDA-4:JICA による取組紹介と経験教員からの提案】 <ul style="list-style-type: none"> ・ JICA による普及・経験活用にむけた取組(JICA) ・ ネットワーク構築と制度の効果的展開にむけた提案(吉岡) ・ ネットワーク構築と制度の効果的展開にむけた提案(丸山) 	司会:村松 各 10 分発表 質疑応答
13:00-14:00	－昼食－	
14:00-16:00	【AGENDA-5:議論－制度面の改善と普及・経験活用方策など】 <ul style="list-style-type: none"> ・ コメントシートの論点整理(佐藤) ・ 議論:制度面の改善, 普及・経験活用方策 	司会:齊藤
16:00-16:15	－休憩－	教育委員会及び 経験教員は終了
16:15-18:15	【AGENDA-6:内部調整会合】 ²¹ <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究調整連絡会合における論点整理(吉川・佐藤) ・ 議論 	司会:佐藤 ※研究協力者, JICA, 文部科学 省のみ参加

※敬称略

²¹ AGENDA-6(内部調整会合)は, 研究協力者, 文部科学省, JICA による内部会合になりますので, それ以外の方は 16:00 で終了となります。